

## 第一回議事の整理（案）

各委員から頂いたご意見を、テーマ内容別にグルーピングし、今後の議事の上でのご関心がどのようなところにあるかを整理しました。今後の検討のなかで委員の関心が反映されるよう、テーマの設定に有効活用させていただきます。

### ○博物館の役割の再認識

- ・ 本物の資料と来館者とのふれあいとは何なんだろうかという素朴な議論が重要
- ・ 「いやしの場」「楽しめる場」という役割も重要
- ・ 観光施設、レジャー施設としての役割
- ・ まち、くらしのスタイルを構成する要素
- ・ 人づくりの場
- ・ 市民からの寄贈資料の保存継承

※博物館の活用の前提として第2回で検討

### ○教育と博物館

- ・ 小中学校→教育委員会の施策との関係
- ・ 大学、市民大学→学ぶこととともに、教える側としての教育
- ・ 現在の博物館の展示内容では小学生には難しい。参加体験が必要

※博物館の活用の前提として第2回で検討

### ○博物館のアイデンティティーと名前

- ・ 総合的なものにせずに、特化したほうがよい。
- ・ 名前と中身の一致は重要。
- ・ 全国にアピールするつもりで中身を充実、外部から見てわかりやすいインパクト
- ・ 美術、歴史民俗、自然という三分野は機能と役割が異なる。

※博物館同士の役割分担を含め、第3回で検討

#### ○博物館の運営

- ・ 博物館側に学校教育との連携の窓口が必要
- ・ 子どもの参加できるプログラムの明示化、スケジュール化が必要
- ・ 学校教育との連携を意識した鑑賞教育カリキュラムの共同開発
- ・ 現状ではマンパワーが足りない
- ・ 現状は学芸業務で手一杯。広報事業・普及事業を展開できる人員・人材が少ない

※ 第3回にて、運営のあり方に関して検討

#### ○施設の社会認知の向上、広報

- ・ 市民の3人に1人が知らないのは問題（未回答を含めると、認識率はもっと低い）

※第3回にて、施設単体だけでなく町田市の博物館機能を有する施設全体の認識向上策に付いて検討

※第4回にて、市立博物館が担うべき機能としての広報の在り方の検討

#### ○立地

- ・ 分散しすぎると連携できない。
- ・ 商店街との連携が出来る良い場所。
- ・ 文化施設の分類が必要。ゾーンを形成する。
- ・ 薬師池付近は文化施設が集積。文化ゾーンとしてもっと高められる可能性がある。

※第4回にて、市立博物館に求められる機能と関連して検討

#### 【参考】各回の検討テーマ概要

第1回委員会 ◎地域の博物館等のあるべき方向性

第2回委員会 ◎市民にとって利活用しやすい博物館像

第3回委員会 ◎複数の博物館等が相互に連携し、魅力や機能を発揮するための方策

第4回委員会 ◎第1回～第3回の検討を実現しうる市立博物館のイメージ

第5回委員会 ◎ 構想（案）の検討（第4回までの検討を取りまとめ、報告）

第6回委員会 ◎最終構想案の確認